

事業所名		フラワーパークなかもず					支援プログラム			作成日		2025 年		2 月		10 日	
事業所理念		・人と人との繋がりを大切に、お互いに認め合い、子どもたちみんなとともに成長していける場所となる。 ・傾聴と共感のもと、子どもたちが笑顔で安心して過ごせる居場所、心の拠り所となる。															
支援方針		・子ども同士の積極的な関わりを通じて、対人スキルやコミュニケーション能力を高める。 ・社会性、学習、生活、身体 の4つのスキルを支援し、子どもたちのコミュニケーションを促進して成長を支える。 ・自発的な行動を促し、達成感を得られる経験を積ませ、成功体験を通じて自信を育てる。															
営業時間		学校がある日		12時		30分		18時		30分		まで		送迎実施の有無		あり	
		学校がない日		9時		00分		18時		00分							
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	1. 衛生習慣の促進と体調管理 ・手洗いの習慣化、必要時のマスク着用・手指消毒の実施。 ・定期的な体調確認、異変があれば検温や経過観察を行い、保護者への連絡。 2. 健康的な生活習慣の支援 ・水分補給の促進、季節に応じた服装の声かけや室内装飾。 ・早寝早起きの習慣を促進し、帰宅後の時間の使い方を一緒に考える。 3. 生活スキルの育成 ・日常生活に必要な力（片付け、食器洗いなど）を養うための声かけ。 ・買い物や予算計算、電話注文など、生活の中でのスキルを育む支援。 4. 自己管理と時間管理の促進 ・学習や遊びの時間を子ども自身で決定させ、その時間を守るように支援。 ・スケジュールや活動場所を視覚的に構造化し、自己管理能力を高める。 5. 安全と精神面のサポート ・避難訓練を通じた安全管理学習や、外遊びのルール決め。 ・学校での様子や悩みを聞き、精神面の安定を図る。															
	運動・感覚	1. 全身を使った運動遊び ・ブランコ、滑り台、アスレチック、竹馬、縄跳びなどの遊具を使い、身体を大きく動かす遊びを行う。 ・外遊びや鬼ごっこ、追いかけっこで全身を使った運動を促進。 ・ダンスやバランスボールなどを通じて、バランス感覚や身体のコントロールを養う。 2. 手指を使った活動 ・砂遊び、制作活動、折り紙や工作で手先の器用さを育む。 ・歌に合わせた手遊びなど、細かな手指の運動を促進。 3. 学習道具の用意 ・字が大きなプリントや書き方鉛筆など、子どもに合わせた学習道具を用意し、学習をサポート。 4. 安心できる環境づくり ・音に敏感な子どもや静かな環境で落ち着きたい子どもに向け、一時的にクールダウンできる部屋を準備し、必要に応じて誘導する。															
	認知・行動	1. 認知の特性を踏まえた情報処理 ・視覚情報が優位な子どもに向けた、イラストや写真でのスケジュール提示 ・色、形、数の理解等を促すために、子どもに合わせた課題を用意し、学習をサポート ・困りごとがあった場合に、まず子どもの話を聴き、認識のズレをその場で修正して解決に導く。 2. 感覚や空間把握力の向上 ・実験イベントや粘土、スライムなどの遊びを通して物質の変化を感じる体験を提供。 ・ブロック遊びを通じて、イメージしたものを形にする力を育成。 ・ジェンガや的当てといった遊びを取り入れ、手先の器用さや集中力を高める。 3. 時間認知と自己管理能力の向上 ・学習時間や活動のスケジュールを自分で決め、時間への認知を高める。 ・見通しを立て、スケジュール管理を自分で行う支援を通して自己管理能力を育む。 4. 行動の切り替えと柔軟性の向上 ・次の活動に移る前の片付けを習慣づけ、環境の変化に柔軟に対応できる力を育てる。 ・天候や状況によるスケジュール変更の際、事前に伝えて子どもが落ち着いて切り替えられるようサポート。															
	言語コミュニケーション	1. 感情表現と自己表現の支援 ・自分の気持ち（楽しい、悲しい、困ったなど）を言葉で表現する練習の場を提供。 ・言葉の選び方や伝え方、言い換え方を一緒に考え、感情を伝える力を育む。 2. コミュニケーションスキルの習得 ・あいさつや「ありがとう」「ごめんなさい」を習慣づけるための声かけを行う。 ・相手の言葉や表情の意図を読み取る練習をゲームや遊びを通じて行う。 3. 話す力と聞く力の向上 ・帰りの会での発表を通じて、文章構築や話す力、他の子どもたちの話を聞く力を育む。 ・読み聞かせを通じて言語力や感情表現の向上を図る。 4. 視覚的・補助的ツールの活用 ・絵カードやPECSを使って、視覚的にコミュニケーションをサポート。 ・スケジュール提示や日常的な言葉の伝達に絵カードなどを活用。 5. 個別ニーズに合わせた支援 ・音読が難しい子には、1文字ずつ指差しをするなど、その子に応じた工夫をする。 ・あのね帳や手紙を書くサポートを通じて、書く力やコミュニケーションの幅を広げる。															
	人間関係社会性	1. 他者との関わりを育む環境作り ・子ども同士が褒め合い、認め合えるような環境を作り、仲の良い子だけでなく、気が合わない子や興味が合わない子など、さまざまな子どもたちと過ごせる基盤を作る。 ・他者との関わりを重視し、関わり方を育む支援を行う（例：普段関わりが少ない子同士でのグループ活動や助け合い）。 2. 共感・思いやりと感情の調整 ・相手の気持ちを考えるサポートを行い、共感や思いやりを育む。 ・自分の気持ちを代弁したり、受け止めてもらう経験を積むことで、感情表現や自己理解を深める。 ・感情を適切に表現し、クールダウンや気持ちの切り替えの支援を行う。 3. 適切なコミュニケーションとルールの理解 ・相手との適切な距離感やその理由を説明し、その場に応じた距離を取る練習をする。 ・遊びの中でルールを決めたり、問題解決を一緒に考える経験を通じて、集団での協力やルールの重要性を学ぶ。 4. 自己肯定感と他者への理解 ・自分のいいところを認め合うことで自己肯定感を育み、苦手なことや嫌なことも受け入れる力を育てる。 ・いいところをお互いに褒め合うことで、他者を認める気持ちを育む。 5. 社会的スキルの習得と社会参加 ・他者との約束を守ることの重要性を伝え、遊ぶ約束をする力を養う。 ・外出イベントや避難訓練、買い物など、日常生活に必要な社会的スキル（公共交通機関の利用、金銭管理、マナー）を学ぶ機会を提供。															
家族支援		1. 家庭との連携と情報共有 ・日々の送り、連絡帳、電話連絡などを通じて家庭と密に連携し、家族の不安や困りごとを把握。 ・事業所の広報通信や面談を通じて、子どもの活動状況や支援内容を家庭に伝え、家庭でも継続できる支援方法を提案。 2. 保護者のサポートと心のケア ・保護者の話を聴き、寄り添いながら肯定的に対応することで、子育てのストレスや孤独感を軽減。 ・面談や相談を通じて、保護者の思いや困りごとを受け止め、心のケアを行う。 ・延長支援や送迎など、家族のニーズに対応し、柔軟な支援を行う。 3. 家族同士の交流と支援 ・家族で参加できるイベントや交流の場を提供し、きょうだいや保護者同士のコミュニケーションを促進。						移行支援		1. 地域とのつながりを作る支援 ・地域の公園で遊んだり、地域の子どもたちと交流することで、地域社会とのつながりを育む機会を提供。 ・外遊びや買い物を通じて地域の人々に認知され、地域との関係を深める。 2. ライフステージを見据えたステップアップ ・学校から自宅まで一人で帰る、放課後に友達と遊ぶ、子どもだけで過ごす時間を提案し、年齢に応じた自立の支援を行う。 ・子どもの進路について保護者と相談し、中高生向けのデイサービスを紹介して、スムーズに次のステップに移行できるようサポートする。							
地域支援・地域連携		1. 他機関との連携・情報共有 ・学校や学童、相談支援との連携を通じて、適切な支援を提供。担当者会議や他サービスとの情報共有を行い、子どもの家庭、学校、他のデイサービスでの様子を把握。 2. 地域活動への参加と交流の促進 ・地域の店での買い物や公園で遊ぶことで、地域の人々と関係を築き、子どもたちのことを知ってもらう。 ・他事業所とのイベントやサッカースクール、アートセッションへの参加を通じて、地域とのつながりを深め、地域文化への理解を促進する。						職員の質の向上		1. 職員の知識向上・育成事業 ・堺市育成事業を利用し、職員のスキルアップを図っている。 ・定期的に研修や事例検討の機会を設け、支援の質を高めるための知識向上に努めている。 2. 日常の情報共有と支援の工夫 ・朝礼や送迎後に子どもの対応について職員間で意見交換を行い、様々な視点を取り入れた支援を実施している。 3. 防災・救急対応の研修* ・地域の消防署や警察署の協力を得て、防災や救急対応に関する研修を実施し、緊急時に適切な対応ができるよう準備を整えている。							
主な行事等		・制作、レクリエーション、外出、実験、調理学習、絵画教室、そうじ、習字等のイベント実施 ・ダンス、読み聞かせ、避難訓練などの定期的な開催 ・周年イベント ・保護者参観 等															